

地域政策課から、9月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

早川地区

8月27日 通学路点検

早川地区まちづくり委員会の交通安全・防犯分科会では、通学路点検を実施しました。今年度は夜間の開催とし、防犯パトロールも兼ねて、通学路を中心に広く早川地区内を回りました。当日は分科会メンバーに加えて、PTAの方々や市の関係課職員も参加し、様々な観点から通学路における危険箇所等について意見を出し合いました。



国府津地区

8月28日 防災学習会

国府津地区まちづくり推進委員会では、防災学習会を開催しました。当日は防災部の津川専門監を講師に招き、地震のメカニズムや国府津地区の災害上の特性、地区防災計画について説明を受けました。当日は積極的な質疑が行われました。



酒匂地区

9月6日 酒匂幼稚園 防災教室

酒匂・小八幡地区まちづくり委員会（防災分科会）では、酒匂幼稚園や消防団第17分団と連携して、園児・保護者向けの防災教室を開催しました。

炊き出し器「まかないくん」で作ったカレーライスを試食をはじめ、子ども用防火服の着用や水消火器体験、消防車の展示・試乗、〇×クイズなど、防災について楽しく学ぶとともに、まちづくり委員会の認知や地域住民同士が交流する機会になりました。



早川地区

9月7日 防災倉庫点検

早川地区まちづくり委員会の防災分科会では、防災倉庫の点検を実施しました。当日は2班に分かれ、早川小学校本校舎内にある防災備蓄庫と、グラウンド脇にある防災倉庫について、備蓄品の有無や残数を確認しました。点検を通して、有事に備える意識を高め、地域全体の防災力を向上させています。





上府中地区

9月7日 ヒエ取り

上府中地区まちづくり委員会農業指導プロジェクトチーム主導で、7月に続き2回目のヒエ取りを実施しました。今年は猛暑の影響かヒエが例年よりたくさん生えており、農業指導プロジェクトチームのみならず、まちづくり委員会の委員（18名）及び千代中学校の教職員（5名）が一丸となって、ヒエ取りを行いました。ヒエ取りと併せ、強風で傾いてしまった稲同士を藁で結束し、直立させる作業も行いました。酷暑の中でしたが、良いコメが収穫できるよう心を込めながら丁寧に作業をしました。10月の稲刈りが楽しみです。



富水地区

9月17日 泉中交通安全キャンペーン

富水地区まちづくり委員会の交通安全分科会では、秋の全国交通安全運動の時期に合わせ、泉中学校のあいさつ運動の日に交通安全キャンペーンを実施しました。当日は啓発チラシを配布するとともに交通安全の普及啓発チラシ付きポケットティッシュを全校生徒分お渡しし、交通安全意識の向上を図ることができました。





富士見地区

夏休み ラジオ体操

富士見地区まちづくり委員会（健康分科会）では、夏休みにラジオ体操を行っています。毎日たくさんの方が訪れ、子ども、保護者を含めラジオ体操だけではなく、終わった後の交流も楽しんでいます。



芦子地区

「初挑戦!! 公民館を子どもの居場所にしてみました!」

芦子地区まちづくり委員会 Cグループ(地域振興分野)



三好正隆グループリーダー
(芦子地区まちづくり委員会委員長)

夏休み終盤の3日間(8/25~27)、寺町公民館を子どもの居場所として開放してみました。
初めての取組で試行錯誤の連続でしたが、今後に向けた貴重な経験ができました。



寺町公民館の入口には、新調したのぼり旗でお出迎え

■ 事業を実施したきっかけは?

これまでCグループでは、芦子地区内の居場所やイベントに関する情報発信、他地区における多世代交流の事例研究などに取り組んできました。

今年度は、5月に芦子地区子ども会連合会と合同でボッチャ大会を開催。この夏、Cグループ単独でできる範囲で、居場所づくりにチャレンジしてみました。



地域の居場所・イベントMAP
(令和6年4月発行)



夏休みの宿題に取り組む親子



はさみ将棋にチャレンジしてみた



大人と一緒に折り紙づくり



初日の様子
(周知不足か？スタッフの方が多かった)



壁をスクリーンにした
「太鼓の達人」のゲームは大人気

- ・3日間で延べ21人の子どもたちが参加してくれました。
- ・高学年の参加が多かった。
- ・地域間のばらつきが見られる。

	年中	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
寺町						3		3
荻窪			1		3		5	9
上谷津	1		1					2
中谷津								0
下谷津		2		2		2		6
入谷津								0
池上							1	1
計	1	2	2	2	3	5	6	21

参加者数 (地区・学年別)



低いテーブルを利用した卓球

2階の広い座敷を利用して、卓球やポッチャもできました



ポッチャは畳でもできる



案内用チラシ

■ ふりかえり

- ・周知のタイミングや方法を工夫すればもっと参加者は増えそうだ。
- ・芦子地区は広いので、複数の公民館で開催すれば参加しやすくなるのではないかな。
- ・公民館の場所を知らない児童もいるので、チラシには地図を載せたほうがよい。

■ 今後の展開

- ・来年の夏休みにも実施する。
- ・開催場所を増やす。
- ・「大人の居場所づくり」にも取り組みたい。